

事業所名

たいよう 篠崎（放課後等デイサービス）

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

31 日

法人（事業所）理念		重い障害を持つ子供たちそのご家族が、将来にわたって安全かつ健康に、地域の中で笑顔で生活できるように、必要なサービスを創造、提供いたします。								
支援方針		子供たちとそのご家族が充実した日々を過ごせる様に、5領域を勘案した療育。								
営業時間		13 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	日々の健康状態・バイタルチェックや呼吸状態など、細やかな様子観察を行い、安定して定期的に利用が出来る様に支援を行っていく。 リラックスして時間を過ごせる様な快適な環境の提供をする。								
	運動・感覚	体全体を使い運動機能の強化、バランス感覚などを遊びや活動を通して学び、体のコントロールを学ぶ。 障害の特性に合った楽な姿勢で活動に参加出来る様に支援を行っていく。								
	認知・行動	特性に合わせた学習や学び、体験を行う事で、様々な物・事を認知出来る様にする。 始まりの会や終わりの会を行い、時系列・ルーティン化する事により先の見通しが持てる様な支援を行っていく。								
	言語 コミュニケーション	言語聴覚士による発声の訓練や口の動かし方の支援を行う。 本人の要望や会話を、言語だけではなく、絵カードを使う事により、視覚的なアプローチ支援を行っていく。								
	人間関係 社会性	職員とたくさん関り、信頼関係を築ける様支援を行っていく。 外出や散策を通して、社会に触れる機会を多く取り、社会資源の活用を行っていく。								
家族支援		保護者様が子育てに悩みがないか常に話す機会を設け、事業所全体・または関係機関等に相談や回答を行える様にする。						移行支援	家族へ情報の提供や移行先の相談・調整等を行う。	
地域支援・地域連携		地域と交流が出来る機会を設ける、地域資源の活用を進め、家族が暮らしやすいように支援を行っていく。						職員の質の向上	事業所全体での研修や支援改善研修を年に数回行う。 外部の研修に各自1回以上の参加を義務とする。	
主な行事等		夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・誕生会 外出・消防署見学や京成バス車庫見学・科学博物館見学などの社会資源見学を随時行っている。								